与那原町社会福祉協議会会報

ゆなばる社協だより

No161号 2026 11

地域のきづな・つながりのある福祉のまちを目指して

赤い羽根共同募金 運動スタート！





















今年も 10 月 1 日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。

運動のスタートにあたり、区長・自治会長をはじめ民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団の皆さまにご参加いただき、出発式を行いました。

出発式終了後には、町内の事業所を訪問し、募金へのご協力をお願いしました。各事業所の皆さまから温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

皆さまから寄せられた募金は、地域の福祉活動や支援を必要とする世帯へ活用させていただきます。

赤い羽根共同募金運動は翌年の 3 月まで行われます。皆さまの温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は略して『社協』と呼ばれており、社会福祉法（109条）に基づき、全国の都道府県、市区町村に設置され、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした公共性の高い非営利の民間団体（社会福祉法人）です。ボランティア活動や地域住民による福祉活動を支援し、町民及び民生委員・児童委員、自治会、公私の福祉機関、民間団体、行政等の参加・協力のもと、「地域住民の皆様が住み慣れたまちで安心して暮らすことができるまちづくり」をめざして活動を行っています。

与那原町社会福祉協議会の活動費の財源は主に、運営費（人件費）を町補助金でまかない、事業費等に会員（町民）からの会費や寄付金、共同募金からの助成金があてられています。

令和８年　熊本地震災害ボランティアセンター派遣報告





令和８年７月 28 日に熊本県で最大震度７を観測する大地震が発生しました。そこで災害時相互応援協定に基づき、沖縄県社会福祉協議会からの派遣要請を受け、８月 16 日から 22 日までの７日間、熊本市へ災害ボランティアセンター運営支援のため派遣され、現地調査班の一員として活動しました。

現地では、被災された方々の声を直接伺いながら、生活上の困りごとや支援のニーズを把握し、必要な支援につなげていくための調査を行いました。被災直後の地域では、一見すると普段の生活を取り戻しているように見えても、住まいや生活環境、片付けなど、さまざまな不安や困りごとを抱えている方がいることを改めて実感しました。

特に印象に残ったのは、連日 35 度を超える猛暑日の中でも、笑顔を忘れず活動に参加されていたボランティアです。厳しい暑さの中、被災された方に寄り添いながら懸命に活動する姿を目の当たりにし、「誰かの力になりたい」という思いが、災害時に大きな支えになることを感じました。

また、今回の派遣を通じて強く感じたのは、災害への備えは物資や設備だけではないということです。日頃からの地域コミュニティのつながりや、近隣同士で声を掛け合える「平時の関係性」が、いざという時に人の命と心を守る大きな盾になるのだと深く考えさせられました。

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、日頃から地域で顔の見える関係を築き、支え合うことが重要です。今回の熊本での経験を今後の地域福祉活動に活かし、平時からのつながりづくりや災害時に支え合える地域づくりに取り組んでいきたいと思います。（報告：新垣　秀吾朗）

総合的な学習の時間に協力

「車いす・アイマスク介助体験」

９月１６日に与那原東小学校 ４ 年生を対象に実施しました。今年は与那原日の出園さんと与那原町民生委員児童委員さんだけではなく、保護者の方々にも参加・協力していただき、一緒に学びながら子どもたちの安全を見守っていただきました。

「車いすを小回りするのが難しかった」、「アイマスクを着けて怖くてもペアのお友達の声かけで安心できたので、声かけの大切さがわかった」等の感想が聞け、実りある時間となりました。



「探究授業」

９月９日に与那原中学校１年生を対象に福祉に関する講話をしました。

この授業のテーマが「未来の与那原町をデザインしよう～理想の町づくり提案～」で、与那原町の現状・課題・魅力を知ろう！という目的に、福祉分野以外にも、交通、環境、防災、行事、商業、歴史の分野からそれぞれ講師をお招きしたそうです。

今後は、生徒それぞれが興味を持った分野を深掘りするために各講師にインタビュー等を行い、今後の与那原町の理想の姿を考えて１２月に発表の場を設けるとのことです。

魅力ある地域にするために、地域から学び地域のことを考える素敵な授業に協力させていただきありがとうございました。インタビューお待ちしています！



事業報告　子育てサロン「資生堂出前セミナー」

「子育てママの時短ビューティセミナー」を開催しました





先日、資生堂様のご協力のもと「子育てママの時短ビューティセミナー」を開催し、当日は 20 代の若いお母さん 6 名にご参加いただき、忙しい毎日でもサッとできるスキンケアやメイクのコツを学びました。

セミナー開催中は、地域の民生委員児童委員さんがお子さんたちを見守り・託児を引き受けてくださったため、お母さんたちは久しぶりに自分のためだけの時間を持ち、ゆったりとリラックスして受講されていました。

セミナー終了後は、民生委員児童委員さんを交えてお茶とお菓子を囲みながらのおしゃべりタイム。子育ての悩みや日常のたわいもない話題で花が咲き、地域での温かい繋がりが生まれる素敵な時間となりました。

ご協力いただきました資生堂様、民生委員児童委員の皆様、そしてご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



～手をつなぎ、心をつなぐ、与那原の未来～

与那原町福祉まつり 2026

令和8年11月14日（土）

午前 10 時～午後 3 時

会場：与那原町役場

雨天決行（一部ブースを除く）

- 巨大！！エアーアスレチック現れる！！
- 福祉事業所による物品 飲食販売ブース
- 福祉車両 展示・乗車体験
- 福祉用具 展示・体験
- 事業所紹介 パネル展示 全 30 事業所！！大集結！！
- 美容ブース ・耳つぼジュエリー ・アクセサリー販売
- ワークショップ体験ブース
- 防災ブース 缶バッチ製作体験 炊き出し体験 ※提供数には限りがあります
- 赤十字奉仕団による体験ブース
- 体験ブース「つなひきかちゃん」もやってくる！！ 与那原町の公式イメージキャラクター

TIMETABLE in 講演会ブース

会場：与那原町　上の森かなちホール

午前の部（10：00～）

10：00	開場　10：00～
10：15	開会の挨拶
10：30	「脳卒中」講演会 講師：訪問看護ステーションおおきな輪 認定看護師　本村　将司　氏
	リエイブルメント事業活動報告会 与那原町福祉課（包括 G）

午後の部（13：15～）

13：15	講演会 【個性を伸ばす、未来につなぐ 子どもの発達障害の理解とサポート】 講師：沖縄リハビリテーションセンター病院 （副院長）富盛　宏　医師
15：00	閉会の挨拶

臨時駐車場のご案内

■ 与那原町役場 駐車場（優先車用駐車場）　■ クララ幼稚園 駐車場

共催：与那原町福祉課、与那原町社会福祉協議会、与那原町福祉まつり実行委員会

お問い合わせ：与那原町福祉課　（TEL:098-943-8333）









寄付

令和8年8月16日～令和8年10月16日受付分

◎一般寄付金

みなさまからの善意のご寄付に対しまして厚くお礼申しあげます

寄付者氏名	区　名	金　額	備　考
匿　　名　様	東浜区	20,000円	児童支援として
匿　　名　様	―	2,200円（お米券）	社会福祉事業のため

◎香典返し

ご逝去された方々のご冥福を謹んでお祈りいたしますとともにご遺族様のご厚情に対しまして心より感謝申しあげます

寄付者氏名	区　名	金　額	備　考
知念　克治　様	板良敷区	100,000円	故父：知念　善達 様と 故母：知念　尚子 様の香典返しとして

編集発行　社会福祉法人　与那原町社会福祉協議会

与那原町字上与那原16番地の2
TEL(098)945-3016　FAX(098)946-7970
E-mail:yo-shakyo@leaf.ocn.ne.jp　HP:https://yonabarushakyo.com/

ホームページ　インスタグラム　ボランティアLINE